

日刊建設工業新聞

11月18日(金)
第20499号

| | |
|-------|------------|
| 大阪支社 | TEL 06(69) |
| | osaka |
| 名古屋支社 | TEL 052(9) |
| | nagoya |
| 横浜支社 | TEL 03(34) |
| | yokoh |
| 関東支社 | TEL 03(34) |
| | kanto |
| 東北支社 | TEL 022(2) |
| | tohok |
| 九州支社 | TEL 092(7) |
| | kyusi |

記事 電話03-3433-7161 mail-ed@decn.co.jp 購読 電話03-3433-7152 mail-sa@decn.co.jp 広告 電話03-3433-7154 eigyo@decn.co.jp

発行所 日刊建設工業新聞社 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 https://www.decn.co.jp/ ©日刊建設工業新聞社 2022

VSL永久アンカー 工法理解へ技術講習会

VSL協会、仙台市で

VSL協会(田中茂義会長)は15日、仙台市青葉区のソラプラプラザTKPガーデンシティで技術講習会を開いた。写真。東北地区での開催は8年ぶり。会員企業やコンサルタント会社などから約30人が参加し、VSL永久アンカー技術を学んだ。

冒頭あいさつした山村徹



理事は「日本に導入されて50年以上の歴史があるVSL

工法には多数の実績がある。グラウンドアンカー工法の一般的な定義やVSL永久アンカーの特徴、新規開発した高性能維持管理アンカーシステムについて理解を深めてほしい」と述べた。

講習会では、同協会アンカー部会の技術委員がVSL永久アンカー工法の技術を説明したほか、神戸大学大学院工学研究科の芥川真一教授が「情報を現場で見える化するOn-Site

Visualization」の技術とその展望」と題して特別講演を行った。会場には高性能維持管理アンカーシステムの実物を展示した。

VSL工法は、注入パイプ1本で内外のグラウトが行えることが特色。削孔径の細径化が図られ、高い耐久性とコスト縮減が可能となる。2月には砂防・地すべり技術センターから技術審査証明が更新(4回目)されている。